

令和元年3月19日 制定

令和2年3月19日 改訂

卒業認定・専門士授与に関する方針

(ディプロマ・ポリシー)

長野美術専門学校は、教育理念に「目的に対し自由な精神で立ち向かう主体性を持った人間」の育成像を掲げています。

本校では、こうした人間育成のため、教育目標を以下のとおり定め、これらを身に付けた者の卒業を認めます。

1. 構想力

自由で正しい造形を思考できる

2. 主体性

目的を自覚し能動的に活動できる

3. 展開力

自己が周囲に及ぼす成果を追求できる

令和元年3月19日 制定

令和2年3月19日 改訂

各学科における卒業認定・専門士授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)

長野美術専門学校では、ディプロマ・ポリシーに定める人間育成の目的達成のため、すべての学科ごとに方針を設けています。

ビジュアルデザイン科3年制 ディプロマ・ポリシー

視覚情報のデザインによって、物事を新たに考案する能力の獲得
ーデザイン全般に関わる基礎力を確実なものにし、自身で切り拓く力をつける

[この学科でつける力]

ビジュアルデザイン科3年制では、視覚的なデザインワークを学びます。卒業までに、新しい時代を切り拓く人間として、必要な基礎力を身につけていきます。

そして、本校のディプロマ・ポリシーに従い「視覚情報のデザインによって、物事を新たに考案する能力の獲得ーデザイン全般に関わる基礎力を確実なものにし、自身で切り拓く力をつける」を学科の方針とし、クリエイティブ業界をはじめとしたデザイン力が求められる広い領域で活躍する能力として、次の力を身につけます。

1. デザインをはじめとしたクリエイティブに関わる専門的で幅広い、確かな基礎技能
2. 制作実技等を通じて養う、分析力や思考力、判断力や表現力
3. 制作課題等を通じ自らの問題意識をもとに多様な情報を収集し、活用できる課題解決力
4. 1、2、3を総合し、課題に対して自律的に取り組む実行力
5. 新たな価値を広く社会に創出する能力
6. PBLのグループワークや、長期インターンシップ等を通じた、協働的な実践力

ビジュアルデザイン科2年制 ディプロマ・ポリシー：

視覚情報のデザインによって、物事を新たに考案する能力の獲得
ーデザイン全般に関わる基礎力を養い、社会の要請に正しく応える力をつける

[この学科でつける力]

ビジュアルデザイン科2年制では、視覚的なデザインワークを学びます。卒業までに、新しい時代を切り拓く人間として、必要な基礎力を身につけていきます。

そして、本校のディプロマ・ポリシーに従い「視覚情報のデザインによって、物事を新たに考察する能力の獲得ーデザイン全般に関わる基礎力を養い、社会の要請に正しく応える力をつける」を学科の方針とし、デザインなどクリエイティブ業界を中心に活躍する能力として、次の力を身につけます。

1. デザインに関わる専門的な基礎技能
2. 制作実技等を通じて養う、分析力や思考力、判断力や表現力
3. 制作課題等を通じ自らの問題意識をもとに多様な情報を収集し、活用できる課題解決力
4. 1、2、3を総合し、課題に対して自律的に取り組む実行力
5. 新たな価値を広く社会に創出する能力
6. PBL のグループワーク等を通じた、協働的な実践力

ビジュアルアート科 ディプロマ・ポリシー：

幅広いアート表現によって、作品を造形する能力の獲得
ー制作や作品をとおし表現の可能性を広げ、社会へつなげる

[この学科でつける力]

ビジュアルアート科では、アートワークを学びます。卒業までに、新しい時代を切り拓く人間として、必要な基礎力を身につけていきます。

そして、本校のディプロマ・ポリシーに従い「幅広いアート表現によって、作品を造形する能力の獲得ー制作や作品をとおし表現の可能性を広げ、社会へつなげる」を学科の方針とし、主体的な制作活動を続けられる能力として、次の力を身につけます。

1. デザイン技能に基づく PC 等の基礎技能
2. 制作実技などにおいて、自ら問題意識を通じ、社会の根本的問題に触れ、作品として結実させる力
3. 1、2を総合し、課題に対して自律的に取り組める実行力
4. 新しい価値を社会に創出する力
5. グループワーク等を通じた、同じ目的に対し共に取り組む力

com. デザイン総合学科 ディプロマ・ポリシー：

クリエイティブの本来性を探求し、多様な領域で活躍できる能力の獲得
ーこれからの社会を幅広いデザインワークでリードする力をつける

[この学科でつける力]

com. デザイン総合学科では、幅広いデザインワークを学びます。卒業までに、新しい時代を切り拓く人間として、本来的で多様なデザイン力を身につけていきます。

そして、本校のディプロマ・ポリシーに従い「クリエイティブの本来性を追求し、多様な領域で活躍できる能力の獲得—これからの社会を幅広いデザインワークでリードする力をつける」を学科の方針とし、クリエイティブ業界のみならず、デザイン力が求められる広い領域で活躍する能力として、次の力を身につけます。

1. 本来的にデザイン分野が有する社会基盤（造形・商業・工学）的な思考法と、その基礎技能
2. 制作実技等を通じて養う、分析力や思考力、判断力や表現力
3. 制作課題等を通じ自らの問題意識をもとに多様な情報を収集し、活用できる課題解決力
4. 1、2、3を総合し、課題に対して自律的に取り組む計画力と実行力
5. 新しい価値を社会に創出する力
6. 5に加え、自発的なプランを、他者を巻き込みながら社会へ実装させようとする力
7. PBL のグループワークや長期インターンシップ等を通じた、協働的な実践力

令和元年3月19日 制定

令和2年3月19日 改訂

教育課程編成・実施の方針

(カリキュラム・ポリシー)

カリキュラム・ポリシー：「クリエイティブの発露としての自由な主体性を重んじ、個々の成長の歩みを支援する」

長野美術専門学校は、卒業認定・専門士授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた人間育成の目標を達成するため、このポリシーを定めます。

具体方針：

1. 学生自身が学びの進捗を確認できる教育課程体系

本校のすべての教育課程における科目群は、専門性を学ぶ「テクニカルライン」と、経験を積む「キャリアステージ」の2軸から成る「美専修学ライン」によって体系づけ編成されます。学生は、この2軸の広がりへの理解を深め、自身の学びを進めることができるものとします。

2. 学びのプロセスによる修学期の編成

すべての科目群は、その性質に合わせ、一年間を3期に分けた「基礎履修期」「ゼミ期」「総合制作期」の修学期のいずれかで実施されます。基本的にすべての学生は、まず「基礎履修期」において基礎的知識や技能を習い、「ゼミ期」において、制作実技やPBLなどの方法で実践しながら学び進め、「総合制作期」においては、これまでの学びや経験を統合する科目が配されるものとします。

3. クリエイティブ分野を学ぶための科目種の編成

本校の科目群は、実技や実習を中心とした「実技科目」と、講義や模擬的作業を体験する「講義・演習科目」の2種から成ります。特に実技科目は本校の専門性の特色を示すものと位置付け、学生が主体的・能動的に学ぶものとします。

4. 修学成果の評価と管理

科目種を問わず、修学成果の評価（成績評価）においては各科目の特性に応じ、かつ修学到達目標（ディプロマ・ポリシー）における育成の目標の達成を測るため、以下の「観点別評価」

を導入し、厳正に実施します。

[A 群] 構想力の獲得

自由な発想の基礎となる造形法と教養を取得し、着想から実現までの造形思考を獲得する。

[B 群] 主体性の涵養

自己課題としての目的意識を持ち、能動的な行動を自己涵養する。

[C 群] 展開力の実践

周囲の課題への、造形活動による応答や解決を実践する。

●観点別評価における「評価方法」:

各科目の特性による成果に準じる

●観点別評価における「評価の観点」:

[A 群] 技能および知識・創意・観点

[B 群] 意欲・自主性・姿勢

[C 群] 目的意識・共感性・成果

令和元年3月19日 制定

令和2年3月19日 改訂

入学者受入方針

(アドミッション・ポリシー)

長野美術専門学校では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに定める教育課程を受けるための条件として、主体性・展開力を培うための資質を確認します。

構想力を培うための資質 [AP-A 群]

興味、観察、想像、発見、求知、論理、創意などの思考による造形性質

主体性を培うための資質 [AP-B 群]

自覚、自立、自主、自律、実行、体験、努力などの姿勢による活動性質

展開力を培うための資質 [AP-C 群]

協調、共感、責任、貢献、達成、創出、持続などの使命による追求性質

上記のアドミッション・ポリシーに基づき、本校では、多彩で多様な入学希望者を受け入れるため、多角的な機会を活用して選考します。

A0 プログラム [主に AP-A 群に重点をおく]

A0 プログラムは、クリエイティブの活動に熱意を持ち、本校で学びを強く希望する学生に対して、本校が最良の成長の場となりうるよう行われるものです。

特色ある学習体験を行い、A0 生は本校の理念や教育方針に対し、学校は A0 生の学業実績や面接のみだけではなく総合的な人物像に対し、相互に理解を深め入学を決定します。入学決定後も学習体験を行い、入学までの期間を有意義なものにします。

推薦入学選考 [AP-A 群、および AP-B 群に重点をおく]

推薦入学選考は、クリエイティブの活動に熱意を持ち、本校の教育理念や信条をふまえ、本校で学びを強く希望する者に対して、入学希望者のそれまでの経験や技能等をまとめ、口頭での自己 PR と志望理由書などによる推薦（自己推薦）や、高等学校等からの推薦（学校推薦）により、多面的・総合的に評価して受け入れるものです。

一般入学選考 [AP-A 群、および AP-C 群に重点をおく]

一般入学選考は、クリエイティブの活動に熱意を持ち、本校の教育理念や信条をふまえ、本校で学びを強く希望する者に対して、基礎的資質を有する者を、試験の結果などを用いて、多面的・総合的に評価して受け入れるものです。